

10 「その他」欄の記述集計

(集計にあたって)

- 同じ記載内容に該当するものは、同一項目として件数をカウントした。
- 「人間ドック」はいわゆる「がん検診」と呼ばれるものではないが、問3の回答の中で「人間ドック」と記載のあった箇所については、特定健診等と並行して人間ドックでの受診も一部認められている場合等も考えられることから、そのまま計上している。

(1) がん検診の実施状況

【問2 貴保険者のがん検診の実施状況（平成27年度）についてお答えください。】

ア. がん検診実施有無及び検診を受診できる加入者の範囲（問2（1））

回答	件数
35歳以上の被保険者・配偶者	1
人間ドック費用一部負担	1
被扶養配偶者	1
被保険者：女性35歳以上（男性被保険者50歳以上PSAのみ）	1
当国保組合契約施設において、被保険者が特定健診・人間ドック・健康診断いづれか一つを受診した場合に限り、そのオプション検査として実施	1

イ. (実施していないがん検診について) 実施していない理由（問2（5））

回答	件数
人間ドックに対する補助を実施している為	5
人間ドックに含まれている為。がん検診の実施主体は自治体である為。	2
一部受診者負担にて実施願う旨を通知している	1
隔年実施	1
平成28年度から実施	1
今後は実施の方向で考えている	1

ウ. 他の機会での受診を促す取組み（問2（6））

回答	件数
平成28年度からがん検診補助を導入	2
被保険者には会社の定期健診の他に、人間ドックを受診してもらう。 被扶養者には人間ドックもしくは特定健診に加えてガン検診も受診するよう啓蒙してます	1
がん対策推進企業に登録 「がん対策のススメ」をイントラに配信	1
生活習慣病検診(がん検診を含む)の利用を勧めている。	1

巡回型健診の取り組み	1
事業所実施の巡回婦人科検診	1
平成 28 年度から被扶養者の婦人がん検診実施 対象者年度末で 40 歳以上	1
市町村がん検診、人間ドックに対して、補助を行っている。	1
オプションで受診可	1
医療機関の協力のもと、被扶養者のがん検診項目を含んだ健診メニューを用意し周知	1

(2) 各がん検診の検査実施方法及び受診状況

【問3 貴保険者で実施した各がん検診の検査実施方法及び受診状況（平成 27 年度）についてお答えください。】

ア. 被保険者の胃がん検診（問3①）

(ア) 検査方法（一次検診）

回答	件数
—	—

(イ) 受診対象者の設定状況

回答	件数
希望者（35 歳以下）	2
希望者	1
ドック対象：35 歳以上の法定健診受診者	1
除く人間ドック受診者、予定者	1
38 歳、42 歳、48 歳	1
定期健診の受診者	1
事業主が決定	1

イ. 被扶養者の胃がん検診（問3①）

(ア) 検査方法（一次検診）

回答	件数
胃 X 線検査、胃内視鏡検査、ペプシノゲン検査、ヘリコバクターピロリ菌抗体検査、リスク検診より選択制	1

(イ) 受診対象者の設定状況

回答	件数
配偶者（妻のみ）	3
39歳以下の配偶者および19歳以上で学生でない者のうち検診を希望する者	1
35歳未満の希望者	1
希望者	1
特定健診 or 人間ドック受診者	1

ウ. 被保険者の大腸がん検診（問3②）

(ア) 検査方法（一次検診）

回答	件数
ドック受診者については、検査法は把握していない	1

(イ) 受診対象者の設定状況

回答	件数
希望者（35歳以下）	2
希望者	1
35歳のみ対象	1
定期検診の受診者	1
事業主が決めしている	1

エ. 被扶養者の大腸がん検診（問3②）

(ア) 検査方法（一次検診）

回答	件数
—	—

(イ) 受診対象者の設定状況

回答	件数
配偶者（妻のみ）	3
希望者	1
35歳未満の希望者	1
35歳のみ対象	1
特定健診 or 人間ドック受診者	1

オ. 被保険者の肺がん検診（問3③）

（ア）検査方法（一次検診）

回答	件数
—	—

（イ）受診対象者の設定状況

回答	件数
定期検診の受診者	2
事業主が決定	1

カ. 被扶養者の肺がん検診（問3③）

（ア）検査方法（一次検診）

回答	件数
—	—

（イ）受診対象者の設定状況

回答	件数
配偶者	2
34歳以下は配偶者のみ	2
特定健診 or 人間ドック受診者	1
39歳以下の配偶者と、19歳以上で学生以外の検診を希望する者	1
受診医療機関により、受診可能	1

キ. 被保険者の子宮頸がん検診（問3④）

（ア）検査方法（一次検診）

回答	件数
細胞診やHPV検査の中から選択可能	1
体部細胞診、経膈エコー	1

（イ）受診対象者の設定状況

回答	件数
30歳以上の女性	1
女子（年齢指定無し）	1
希望者	1
定期検診の受診者	1
20～74歳は当該年度偶数年齢のもの (40～74歳は生活習慣病予防健診と併せて受診)	1

ク. 被扶養者の子宮頸がん検診（問3④）

（ア）検査方法（一次検診）

回答	件数
細胞診や HPV 検査の中から選択可能	1
体部細胞診、経膈エコー	1

（イ）受診対象者の設定状況

回答	件数
配偶者（女性のみ）	6
39歳以下の配偶者と、19歳以上で学生以外の検診を希望する者	1
特定健診 or 人間ドック受診者	1
希望者	1
子供以外	1

ケ. 被保険者の乳がん検診（問3⑤）

（ア）検査方法（一次検診）

回答	件数
マンモグラフィかエコー検査のどちらか選択制	3
視触診+（マンモグラフィかエコー検査どちらか）	1

（イ）受診対象者の設定状況

回答	件数
女子（年齢指定無し）	1
30歳未満も希望者は可能	1
定期検診の受診者	1
40歳以上マンモグラフィ	1
除く人間ドック受診者、予定者	1
当該年度に偶数年齢で、生活習慣病予防健診と併せて受診する	1
自治体がん検診無料対象者を除く、神奈川近郊在住者のみ	1
任継女性は30歳以上、その他設定無し	1
希望者とマンモグラフィのみ35歳以上	1

コ. 被扶養者の乳がん検診（問3⑤）

（ア）検査方法（一次検診）

回答	件数
マンモグラフィかエコー検査どちらかの選択制	3
視触診+（マンモグラフィかエコー検査どちらか）	1

(イ) 受診対象者の設定状況

回答	件数
配偶者（女性のみ）	5
特定健診 or 人間ドック受診者	1
39歳以下の配偶者と、19歳以上で学生以外の希望する者	1
希望者	1
40歳以上マンモグラフィ	1
自治体がん検診無料対象者を除く、神奈川近郊在住者のみ	1

(3) がん検診のお知らせ及び一次検診の受診結果の把握状況

【問4 貴事業所のがん検診のお知らせ及び一次検診の受診結果の把握状況（平成27年度）についてお答えください。】

ア. がん検診のお知らせ方法（問4（1））

回答	件数
被保険者は、事業所の検診時に本人に通知。被扶養者は手紙で。	4
保険者がHPや社内掲示板により対象者全体に対して周知	2
保健師がHPやメールで案内をする	1
各事業所が本人に通知	1
保険者が事業所経由で文書にて対象者へ通知	1

イ. がん検診の受診者数の把握方法（問4（3））

回答	件数
補助金申請や支払い時に、検診機関や各事業所や本人から情報を入手	3
被扶養者は、検診補助申告で把握	1
事業所からの補助金請求分をカウント、委託先からは受診者本人より報告を受けている	1

ウ. 受診者数を把握していない主な理由（問4（4））

回答	件数
健保組合としては、特定検診情報の管理をしているため	1
人員不足で集計する余裕が無い	1
費用補助のものだけ	1
まだ健保業務を全て理解しておらず、システムの使い方を理解していないため、把握出来るのか、出来ないのかが分からない	1

(4) がん検診の要精検者の把握状況

【問6 貴保険者が実施する「がん検診」において、精密検査が必要となった方（要精検者）の把握状況（平成27年度）についてお答えください。】

ア. 要精検者数の把握方法（問6（2））

回答	件数
一部検診機関からの連絡による	1
補助金申請や支払いにおいて、検診機関や本人や事業主から情報入手	1

イ. 要精検者の個人ごとの結果を把握していない理由（問6（3））

回答	件数
そこまで手が回らない	1
事業所で実施のため	1
結果表の提出を義務付けしていない	1
システムにデータの取り込みが出来ない。 また、個人のがん検診結果についての意識が高い為	1
実施主体でなく、費用補助だけのため	1
事業主側から本人に直接通知しているため	1

(5) がん検診の要精検者に対する受診を促す取組みの状況

【問7 貴保険者において「がん検診」の要精検者に対する受診を促す取組みの状況（平成27年度）についてお答えください。】

ア. 精密検査の受診勧奨の方法（問7（2））

回答	件数
—	—

(6) 県や市町村に対する要望

【問9 「がん検診」に関する県や市町村に対する要望についてお答えください。】

ア. がん検診に関する県や市町村に対する要望（問9）

回答	件数
当健保においては財政逼迫のなかで、保健事業の縮小を余儀なくされる状況にあり、自治体を実施されるのであれば、健保としては手を引きたい。	1
特定健康診査費用は健保組合で負担するので、自治体のがん検診と同時に受診できる体制を作っていただきたい	1
日本全国の検診機関の書式を統一し、保険者に全結果報告を必須にして欲しい	1

<p>がん検診の必要性を啓蒙して、その結果、自治体のがん検診を受診してくれたとしても、保険者にはその受診情報が入ってこない為、受診率UPにはつながらない。自治体と職域が連携できる場や取組みが必要と思われる。</p>	1
<p>経営層に対し、社員のがん発症＝会社の戦力低下→経営悪化という事を訴えてほしい</p>	1
<p>自治体で「がん検診」も実施しているところもあり、職域での受診者が限られていると思われます。自治体と職域を通してどのくらい実施しているか。</p>	1
<p>市区町村で実施する様々な「検診」と、健康保険組合が実施する「被扶養者、任意継続被保険者の健康診断」を混同している方がいるため、市区町村からの案内文には、健康保険組合等の医療保険者の「健康診断」とは異なる旨の注意を記載いただきたい。</p>	1
<p>「受けましたか？がん検診」のリーフレットについては毎年行われており、今年度からでしょうか？「アンケートにご協力」という形で新たな取組みをされており、意欲的に取り組まれていると感じます。また、銀行の支店のロビーにも置かせていただいています。</p>	1